



# 沢瀉

名称の由来／李時珍によれば、「瀉」は水を去ることであり、沢瀉の名は、沢のように水を去るその薬能から名づけられたという。



ALISMATIS RHIZOMA (オモダカ科)

監修：山田光胤<sup>※</sup>、村越 勇<sup>※※</sup>、岡田 稔<sup>※※※</sup>

※ 皇風会山田医院 院長  
※※ 千葉大学名誉教授(薬学部)  
※※※ (株)ツムラ中央研究所 所長

**原植物** サジオモダカ *Alisma orientale* JUZEPCZUK (オモダカ科 *Alismataceae*)

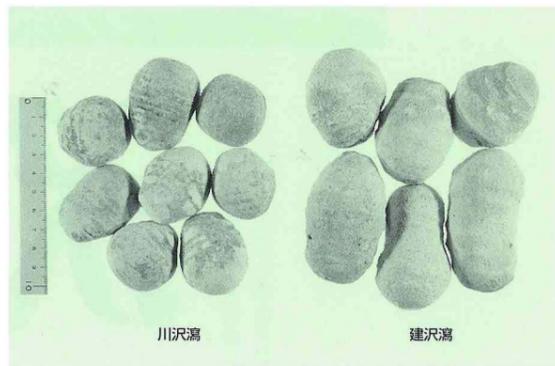
**薬用部位** 塊茎を使用する。

**来歴** 沢瀉は『神農本草経』上品に収載され、主に利尿薬として用いられる。一時期、日本の各地でも沢瀉は栽培されていたが、現在、沢瀉の年間需要量のほとんどは中国からの輸入品に頼っており、日本での栽培はほとんど行われていない。かつて日本で栽培された沢瀉は、不定形のものも多く生薬として好まれなかった。このことが、日本での沢瀉の栽培が衰退した原因のひとつとなっている。

**調製法** 春にサジオモダカの種子を播種し、11月頃掘り取って、葉柄、細根を除き乾燥させる。又、塊茎を肥大させるために花茎を摘みとり、花を咲かせないようにすることもある。

**産地** 中国  
中国産沢瀉は福建省、江西省に産する「建沢瀉」と、四川省、貴州省、雲南省に産する「川沢瀉」に分けられる。この建沢瀉と川沢瀉は、形状、質感、エキス含量等に違いが認められるが、建沢瀉と川沢瀉の両者とも、同じサジオモダカが原植物であるとされ、その違いは栽培条件の違いに由来するものであると考えられる。日本には建沢瀉より川沢瀉のほうが多く輸入されている。

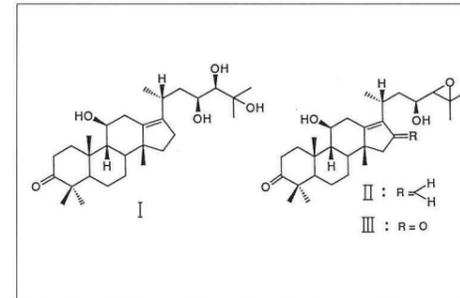
**選品** 沢瀉は長さ3~8cmの球形~楕円状球形で、ときには分枝して不定形を示すものもある。外面は淡黄褐色~淡灰色で、表面にはわずかに輪帯があり、根の跡がイボ状に残るものもある。その中で、肥大充実し、断面が淡黄白色を呈するものが良品である。



●カラー写真は裏表紙にあります。

	川 沢 瀉	建 沢 瀉
原植物	サジオモダカ <i>Alisma orientale</i>	サジオモダカ <i>Alisma orientale</i>
主な産地	四川、貴州、雲南	福建、江西
外観	球形	楕円状球形
質感	重い	軽い
エキス含量	建沢瀉より川沢瀉のほうが、エキス含量が高い傾向がある	

**成分** トリテルペン類の alisol A(I)、B(II)、C(III)及びその acetate 体、単糖類である D-glucose、D-fructose、sucrose を含有する。又、セスキテルペン類である alismol、alismoxide が含まれる。



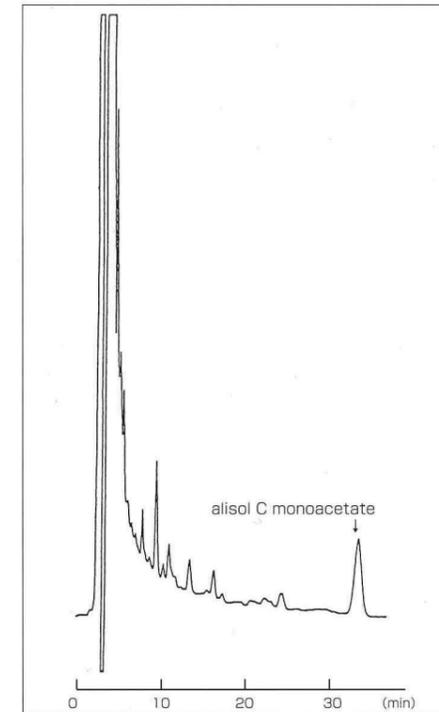
**HPLC** 沢瀉の高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

**分析例**  
検出器：紫外吸光度計 (測定波長：249nm)  
カラム：逆相系 (ODS)  
移動相：水・アセトニトリル・シュウ酸混液  
流量：1.0 mL/min

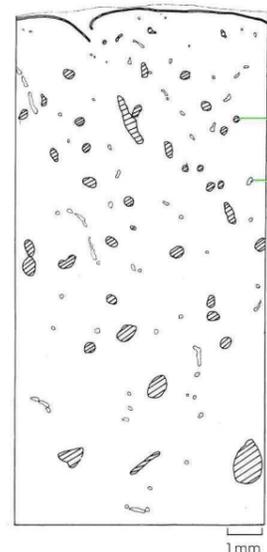
**薬理**

- 利尿作用
- 循環器に対する作用
- 血液凝固抑制作用
- コレステロール血症改善作用
- 抗脂肪肝作用
- 尿路結石形成抑制作用

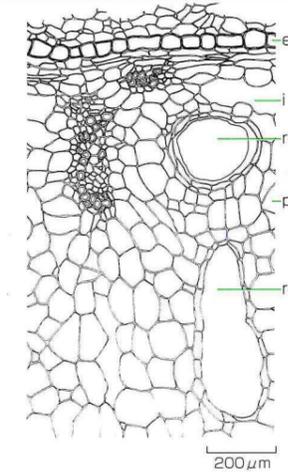
などが動物実験等で確認されています。  
【生薬ハンドブック】(山田・丁監修、ツムラ1995) 参照



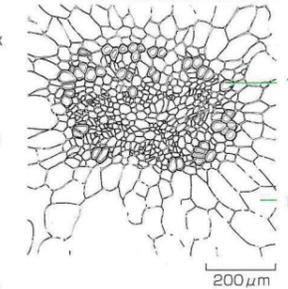
沢瀉横切片模式図



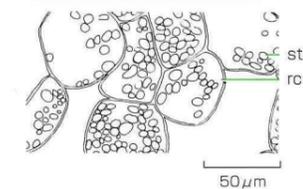
沢瀉横切片周辺部組織解剖図



塊茎中央部の維管束



細胞内のでんぷん粒



ex : 外皮  
i : 細胞間隙  
p : 柔細胞  
rc : 樹脂道  
re : 樹脂  
sta : でんぷん粒  
v : 道管  
vb : 維管束

古典

○性味：甘、寒  
(本草綱目)

○薬能：

澤瀉  
氣味 甘寒無毒

澤瀉  
濕痺乳難養五臟益氣力肥健消水久服耳目聰明不饑延年輕身面生光能行水上本經補虛損五臟痞滿起陰氣止洩精消渴淋瀝逐膀胱三焦停水別錄工腎虛精自出治五淋宣通水道甄權王頭灰耳聾馬筋骨痠痛通小腸止尿血王難產補女人血滯含入存子大明入腎經去積水養新水利小便消腫脹溲洩止瀉元氣去脬中留痞心下水痞孟詵濕熱行痰飲止嘔吐瀉痢疝痛脚氣蘇

試効宣通水道行水利停水膀胱中留垢消渴淋瀝消腫利尿瀉水痞

(本草綱目) ツムラ中央研究所蔵

(一本堂薬選) 香川修庵書 復刻版

訳(上記ライン部分の訳)  
[本草綱目]

本経(神農本草経) リウマチ様疾患、乳汁分泌不足。五臓を養い、氣力を益し、肥健ならしめ、水分代謝の異常を改善する。長期服用すれば耳目を聡明にし、饑えない。寿命を延ばし、からだを軽くし、顔面に光沢を生じ、よく水上を行くことができるようになる。

時珍(李時珍) 湿邪・熱邪が停まらないようにし、水毒を行らす。嘔吐、下痢、発作的な痛み、脚氣を止める。

[一本堂薬選]

[試効] 水道を宣通し、停水をめぐらす。膀胱中のアカ、糖尿病類いの症候、排尿異常、腫れを消し、利尿によりつかえをとる。

1日常用量

- 1.5~5.0g  
[経験・漢方処方分量集]  
大塚敬節・矢数道明 監修  
医道の日本社(1985)
- 6~15g  
[漢薬の臨床応用]  
中山医学院 編/  
神戸中医学研究会 訳・編  
医歯薬出版(1979)

処方例

- 胃苓湯、茵陳五苓散、啓脾湯、牛車腎気丸、五淋散、五苓散、柴苓湯、当帰芍薬散、猪苓湯、猪苓湯合四物湯、八味地黄丸、半夏白朮天麻湯、竜胆瀉肝湯、六味丸
- 沢瀉湯、当帰拈痛湯、分消湯、補中治湿湯

中医学

○性味と帰経：甘、寒。腎・膀胱經に入る。  
○効能と応用：①利水滲湿・泄熱 ②除痰飲 ③その他

「中醫臨床大系 中薬学」甘肅省新医薬研究所 主編/  
「中医臨床のための中薬学」神戸中医学研究会 編著



川沢瀉

建沢瀉